

● 日本の主な火山活動

桜島では、噴火活動は 2016 年 8 月以降低下しているが、始良カルデラへのマグマの供給が継続していることから、火山活動が再び活発化する可能性がある。引き続き火山活動の推移に注意が必要である。昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要である。

口永良部島では、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、2014 年 8 月の噴火前よりもやや多い状態であることから、引き続き噴火の可能性がある。

新岳火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要である。向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲では、火砕流に警戒が必要である。

草津白根山では、湯釜火口及び水釜火口周辺の熱活動の高まった状態が継続している。また、湯釜北側噴気地帯の噴気孔から噴気が認められている。東京工業大学によると、2014 年以降、火山ガス成分や湯釜湖水の化学組成は火山活動の活発化を示す状態が確認されている。

小規模な噴火が発生する可能性があることから、湯釜火口から概ね 1 km の範囲では、小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

浅間山では、山頂火口直下のごく浅い所を震源とする体に感じない火山性地震はやや多い状態となっており、火山活動はやや活発な状態で経過している。

今後も火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性があるため、山頂火口から概ね 2 km の範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

御嶽山では、火口列からの噴煙活動や、地震活動が続いていることから、今後も小規模な噴火が発生する可能性がある。火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

阿蘇山では、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量が 2016 年 12 月下旬までやや多い状態で経過していたことから、引き続き火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性がある。中岳第一火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要である。

霧島山（新燃岳）では、これまでも火山性地震が時々発生しており、火口内及び西側斜面では弱い噴気や熱異常域が確認されていることから、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

新燃岳では火口周辺に影響のある小規模な噴火が発生する可能性があるため、火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

薩摩硫黄島では、1 月 1 日から火山性地震が増加したことから、小規模な噴火が発生する可能性があるためと判断し、5 日 11 時 00 分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）に引き上げた。火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

諏訪之瀬島の御岳火口では、噴火が時々発生した。

今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されるため、火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）では、火山性地震が少ない状態で経過していることなどから、13 日 14 時 00 分に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（活火山であることに留意）に引き下げた。

表 1 1 月 31 日現在の火山現象に関する特別警報・警報・予報等の発表状況
 （※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中）

特別警報・警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル 3（入山規制）	桜島、口永良部島
	レベル 2（火口周辺規制）	草津白根山、浅間山、御嶽山、阿蘇山、霧島山（新燃岳）、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	西之島、硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	福岡ノ場※
噴火予報	レベル 1（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山、岩木山、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、日光白根山、新潟焼山、焼岳、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、三宅島、鶴見岳・伽藍岳、九重山、雲仙岳、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、霧島山（御鉢）
	活火山であることに留意	上記以外の火山

*噴火警戒レベルは、その活用が地域防災計画等で予め定められており、レベル毎の防災対応がキーワードで示されている。



図 1 1 月 31 日現在、火山現象に関する特別警報、警報及び火山現象に関する海上警報発表中の火山

表 2 平成 29 年 1 月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報		概要
		種類、号数等	発表日時	
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	解説情報 第 1 号～ 8 号	6 日、10 日、13 日、 16 日、20 日、23 日、 27 日、30 日 16 時 00 分	噴煙、火山性地震・微動等火山活動の状況。 現地調査による火山ガスの状況。
口永良部島	噴火警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	解説情報 第 1 号～ 8 号	6 日、10 日、13 日、 16 日、20 日、23 日、 27 日、30 日 16 時 00 分	噴煙、火山性地震等火山活動の状況。 現地調査による火山ガスの状況。
草津白根山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 1 号～ 4 号	6 日、13 日、20 日、 27 日 16 時 00 分	熱活動、地殻変動、火山性地震等火山活動の状況。
浅間山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 1 号～ 9 号	2 日、6 日、9 日、 13 日、16 日、20 日、 23 日、27 日、30 日 16 時 00 分	噴煙、火山性地震・微動等火山活動の状況。 現地調査による火山ガスの状況。
		火山活動解説資料	18 日 18 時 30 分	18 日に増加した火山ガス（二酸化硫黄）の状況。
御嶽山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 1 号～ 4 号	6 日、13 日、20 日、 27 日 16 時 00 分	噴煙、火山性地震等火山活動の状況。
阿蘇山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 1 号～ 8 号	6 日、10 日、13 日、 16 日、20 日、23 日、 27 日、30 日 16 時 00 分	噴煙、火山性地震・微動等火山活動の状況。 現地調査による火山ガスの状況。
薩摩硫黄島	噴火予報(噴火警戒レベル 1、活火山であることを留意)	解説情報 第 1 号	4 日 14 時 45 分	1 日から増加した火山性地震の発生状況。
	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	火口周辺警報	5 日 11 時 00 分	1 日から火山性地震が増加したことから、火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 1（活火山であることを留意）から 2（火口周辺規制）に引き上げ。
		解説情報 第 2 号	5 日 11 時 45 分	
		火山活動解説資料	5 日 12 時 30 分	
		火山活動解説資料	5 日 19 時 15 分	火山性地震等火山活動の状況。現地調査の状況。
		解説情報 第 3 号	5 日 16 時 00 分	
解説情報 第 4 号～11 号	6 日、10 日、13 日、 16 日、20 日、23 日、 27 日、30 日 16 時 00 分	噴煙、火山性地震等火山活動の状況。現地調査の状況。		
霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 1 号、第 2 号	6 日、10 日 16 時 00 分	噴煙、地殻変動、火山性地震・微動等火山活動の状況。
	噴火予報(噴火警戒レベル 1、活火山であることを留意)	噴火予報	13 日 14 時 00 分	噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（活火山であることを留意）に引き下げ。
		火山活動解説資料	13 日 14 時 00 分	

注) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。阿蘇山、桜島、諏訪之瀬島、口永良部島においては、毎日 02 時から 3 時間毎に 8 回降灰予報（定時）を発表している。薩摩硫黄島においては 1 月 5 日 11 時 55 分以降、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）においては 1 月 13 日 11 時まで、毎日 02 時から 3 時間毎に 8 回降灰予報（定時）を発表している。